

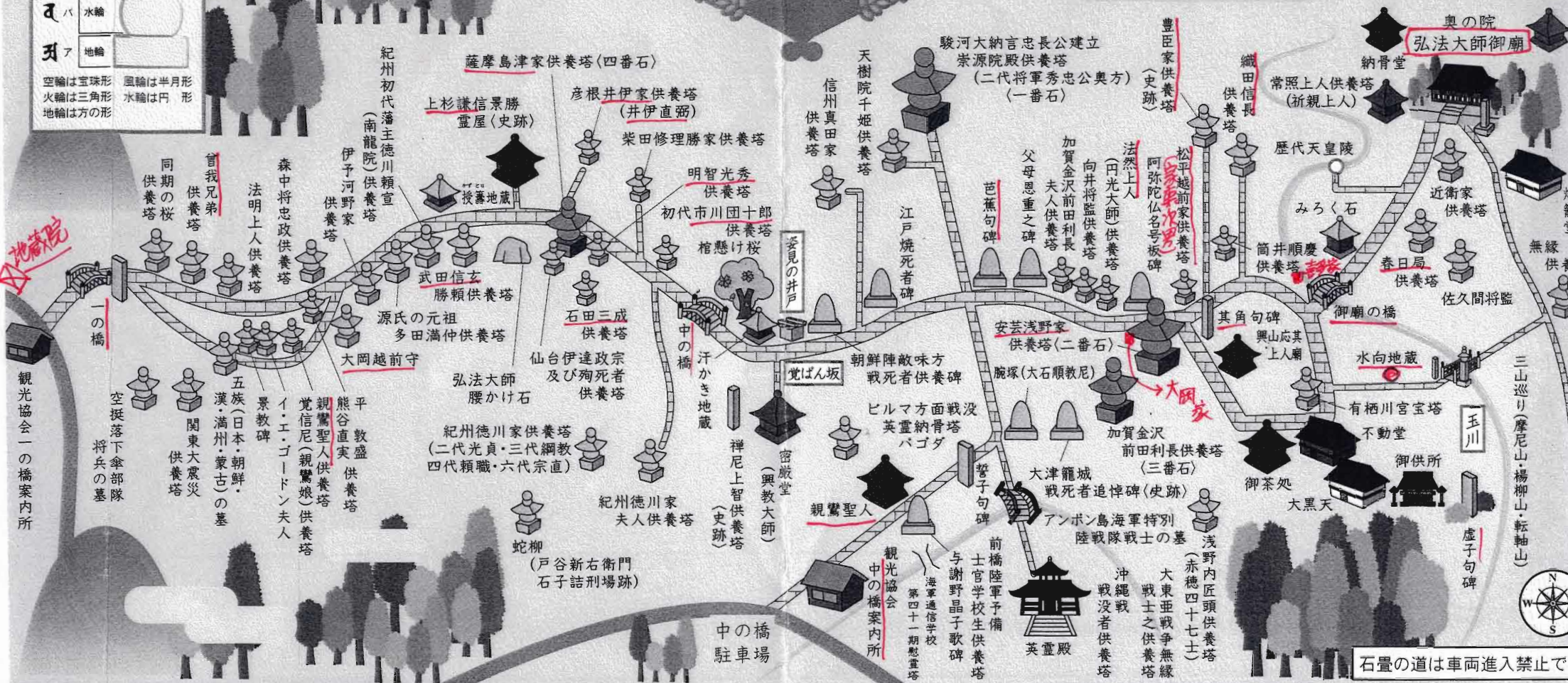
奥の院参道ガイドマップ

OKUNOIN GUIDE MAP

五輪塔のかたち

キ	空輪
カ	風輪
ク	火輪
ケ	水輪
コ	地輪

空輪は宝珠形 風輪は半月形
火輪は三角形 水輪は円形
地輪は方形



各施設までの距離



奥の院は川と橋の三重構成

霊場・高野山の結界のなかでも、大塔などがある壇上と奥の院とは、とくに尊いところと信じられています。奥の院はいうまでもなく、弘法大師の御廟があるところです。

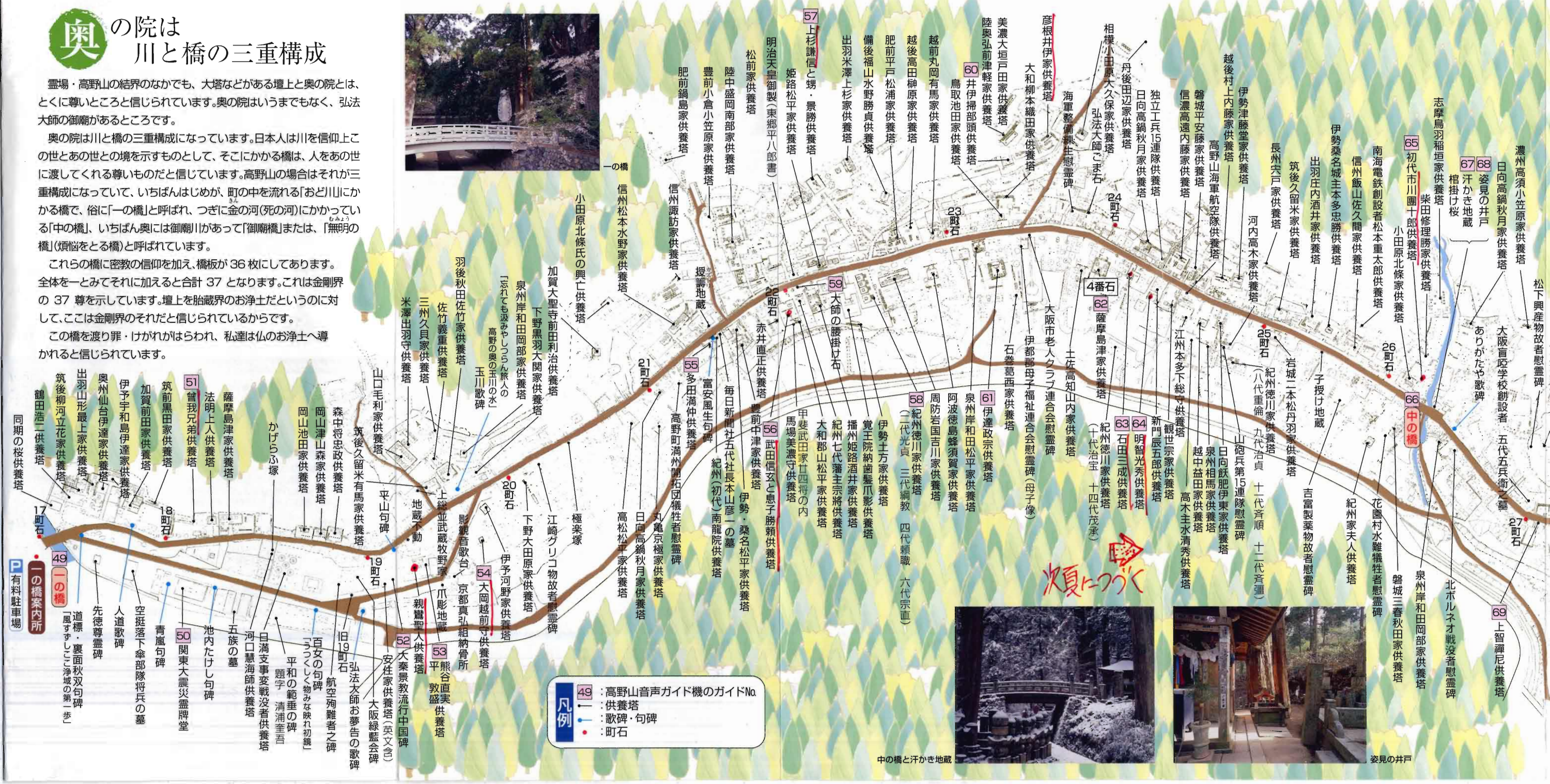
奥の院は川と橋の三重構成になっています。日本人は川を信仰上この世とあの世との境を示すものとして、そこにかかる橋は、人をあの世に渡してくれる尊いものだと思っています。高野山の場合はそれが三重構成になっていて、いちばんはじめが、町の中を流れる「おど川」にかかる橋で、俗に「一の橋」と呼ばれ、つぎに金の河(死の河)にかかっている「中の橋」、いちばん奥には御廟川があって「御廟橋」または、「無明の橋」(煩惱をとる橋)と呼ばれています。

これらの橋に密教の信仰を加え、橋板が36枚にしてあります。全体をひとみてそれに加えると合計37となります。これは金剛界の37尊を示しています。壇上を胎藏界のお浄土だというのに対して、ここは金剛界のそれだと信じられているからです。

この橋を渡り罪・けがれがはらわれ、私達は仏のお浄土へ導かれると信じられています。



一の橋



凡例

- 49: 高野山音声ガイド機のガイドNo.
- : 供養塔
- : 歌碑・句碑
- : 町石



中の橋と汗かき地蔵



姿見の井戸

火夏にワジク

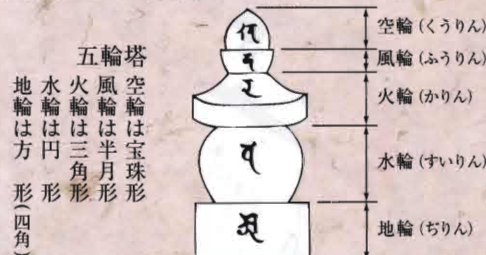
有料駐車場

一の橋案内所

石塔の由来

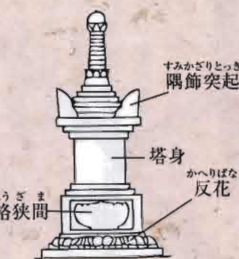
【五輪塔】

仏教の教えでは宇宙は空・風・火・水・地の五つの要素から構成されているといわれています。五輪塔は、この五つの部分でつくり、それを意味する梵字が、ぎざまれています。大日如来を象徴した塔で、日本では平安時代後期以後は死者の供養塔として建立されるようになりました。その始まりは高野山だといわれます。この塔には、五つの石を重ねたものと、小形で一石で造られたものがあります。一石五輪は室町時代から江戸時代初期に盛んに作られました。



【宝篋印塔】

五輪塔と並んで多い供養塔の一つ。塔中に宝篋印神咒經を納めることから、この名が生れた。塔身の周囲に、密教の四仏(阿闍・宝生・阿弥陀・世間王など各種あり)またはその種字(梵字)を刻むことが多い。鎌倉時代からその造立がはじまりました。



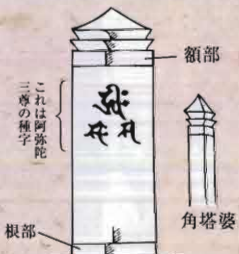
【無縫塔】

頭部が丸く、鳥の卵の形に似ており、卵塔とも呼ばれ、僧侶の墓に多いです。



【板碑】

平らな板のような石で作られた石塔で、上部に2本の横線が入り石の中央に梵字が刻まれています。



歌碑や句碑をたずねて

高野山には著名な俳人・歌人の碑が数多くあります。奥の院の墓石のあいだに苔むした碑をさがし求めるのも、また楽しいものです。信仰にはぐくまれた碑文を読むことによって、奥深い高野山を味わうことが出来ます。

表参道の芭蕉の句碑。
父母のしきりに恋し雉子の声
高名な江戸時代の画家・池大雅の筆。

裏参道には、与謝野晶子の
やわはだの あつき血潮に ふれもみで
さびしからずや 道を説く君
の歌碑が建っています。

そのほかにも、
炎天の空美しや高野山
(高浜虚子)御供所前

夕焼けて西の十万億土透く
(山口誓子)英霊殿前

一山の清浄即美秋の雨
(富安風生)多田満仲供養塔横

雉子啼くや翁の仰せの有る通り
(初代市川團十郎)表参道中の橋手前左
などの句碑があります。



芭蕉の句碑



与謝野晶子の歌碑



日本最古の歌碑 (大中臣弘泰辞世の歌)

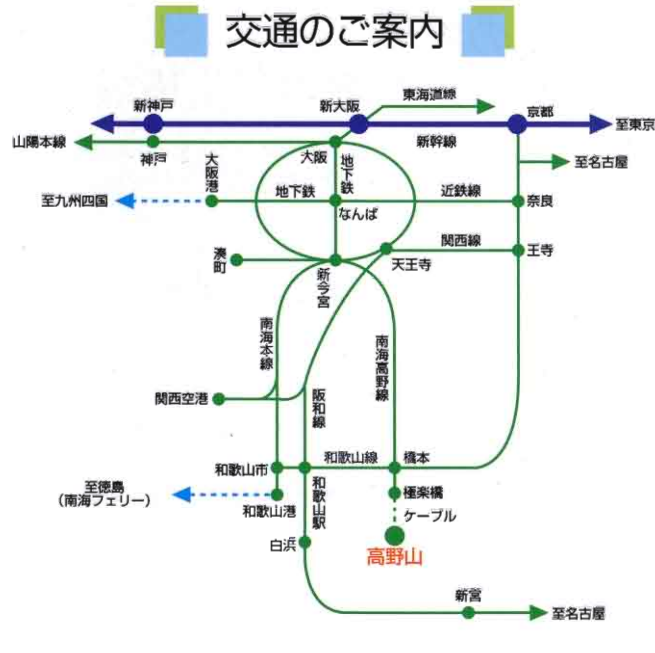
高野山町石道を歩く

弘法大師が真言密教の根本道場を開創して以来、高野山は現世の浄土として広く信仰を集めてきました。

古くからこの聖地へ向かう道は幾本もありましたが、それらは山に近づくにつれて合流し、七つの道に集約されて山内に入ります。その七つのうち、九度山の慈尊院から山上西口の大門へ通じる表参道は高野山町石道と呼ばれ、開創の頃弘法大師が木製の卒塔婆を建てて道しるべとしたと伝えられています。

鎌倉時代の文永年間(1270)の頃、覚きょう師の発願により、朽ちた木の代わりに石造り卒塔婆形の町石が建てられました。

高さ約2mの町石は、1町(109m)ごとに建てられ、伽藍の大塔を基点として山麓の慈尊院まで 180 町を胎蔵界 180 尊にあて、大塔から奥の院御廟までの 36 町石を金剛界 37 尊として、いまなおその姿が残っています。



■電車でアクセス

関西空港から南海線で難波まで約30分。
南海電鉄、大阪難波駅～高野山駅の間を特急は一日に4往復、急行は約30分毎に1本の間隔で運行し、所要時間は特急で1時間40分、急行で約2時間。
和歌山・奈良方面からは、JR和歌山線橋本駅で南海高野線に乗り換え。

■お車でアクセス

京都・大阪方面から
阪和自動車道(美原JCT)から南阪奈道路(羽曳野IC)で下り、R170号線經由河内長野の上原町～R371号線經由橋本～R24号を越え紀の川を渡り、山麓の九度山町より高野山道路(R370号、R480号)を経由して大阪より約2時間30分。

神戸方面から
阪神高速湾岸線(りんくうJCT)から阪和自動車道(泉佐野JCT)を経由し(泉南IC)で下り、県道63号(泉佐野岩出線)を経由してR24号線を橋本方面に走行し、かつらぎ町笠田からR480号線を経由し神戸から約3時間。

- 白浜から高野山へは約3時間。
白浜田辺～国道42号～国道311号～国道371号線で龍神方面～高野龍神スカイラインを経由
- 新宮から高野山へは約3時間30分。
新宮市～国道168号～国道311号～国道371号線で龍神方面～高野龍神スカイラインを経由

お問い合わせ・お泊まりは

高野山宿坊組合・高野山観光協会・(有)高野山参詣講

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山600番地

TEL. 0736-56-2616 FAX. 0736-56-2889

<http://www.shukubo.jp>

高野山駅案内所 ☎ 0736-56-2039 高野山中の橋案内所 ☎ 0736-56-2517
高野山大門案内所 ☎ 0736-56-3405 (お土産) 中の橋会館 ☎ 0736-56-2653
高野山一の橋案内所 ☎ 0736-56-3405 (お食事) 新中の橋会館

凡例

- 案内所
- お手洗
- 駐車場
- ガソリンスタンド
- バス停
- 通行禁止
- P23に掲載のカフェ・レストラン
- P23に掲載の絵土産物・ショップ
- スタンプ設置場所(P14参照)
- 宿泊可能な宿坊(P12参照)



御影堂【みげどう】
弘法大師がお住まいになっていたとされるお堂。弘法大師の御影が祀られてから、御影堂と呼ばれています。御遺夜法会(おたいやほうえ)の後のみ、一般内拝がされています。



御社【みやしろ】
弘法大師が高野山を興いた際に守り神として、丹生明神、高野明神を勧請した社。高野山の神仏合尊の象徴です。

壇上伽藍【だんじょうがらん】

高野山の二大聖地のひとつ。弘法大師が真言密教の根本道場を開くにあたり最初に整備に着手した場所です。境内には根本大塔、金堂など19の建築物が建ち並びます。



壇上伽藍 拡大図



根本大塔【こんぽんだいとう】
真言密教の根本道場のシンボルとして建てられた、高さ48.5mの日本で最初の多宝塔。大塔内陣は曼荼羅の世界を立体的に表現しており、胎藏界と金胎界をひとつに融合した空海独自の立体曼荼羅となっています。(拝観料200円)

金堂【こんどう】
伽藍の中央にあり、高野山の根本道場、重要な行事のほとんどがここで執り行われます。御本尊は毎仏日となっている薬師如来です。(拝観料200円)



奥之院【おくのいん】
壇上伽藍とともに高野山の二大聖地。一の橋から御廟まで約2kmの参道には、約20万基を超える諸大名の墓石や、祈念碑、慰霊碑の数々が樹齢約700年の杉木立の中に建ち並んでいます。



御影堂【みげどうばし】
弘法大師御廟は大師信仰の中心聖地。御廟橋より先は聖域であり、写真撮影は禁止。橋の手前で服装を直し、一礼して渡りましょう。

高野山 マップ

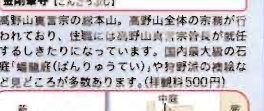
大門【いざいん】
高野山の総門であり、結界のシンボル。左右には金剛力士像が安置されています。大門付近は楓葉もよく、西面や淡路の山々が見えることも。



徳川家屋台【とくがわけいだい】
寛永20(1643)年、三代将軍家光が建立した江戸時代の代表的な建築物。建物の内部は、金箔、暖簾等で装飾されています。(拝観料200円)

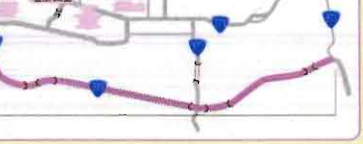


金剛峯寺【こんどうおし】
高野山真言宗の総本山。高野山全体の宗務が行われており、住持には高野山真言宗管長が兼任する仕組みになっています。園内最大規模の石造「瑞鏡殿(はるりゅうてい)」や物野浄の徳院など息どころが多数あります。(拝観料500円)



金剛峯寺 拡大図

平成27年 3月28日 開通
※「高野山道路」開通でより快適に!



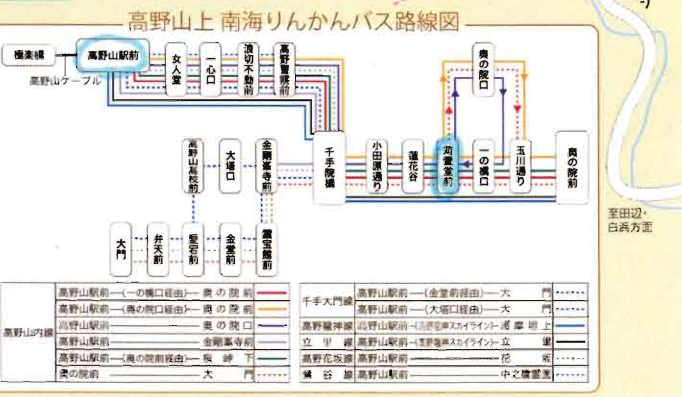
中門【なかつら】

大門が高野山全体の総門であるのに対して中門は、浄域である伽藍を結界する重要な門といえるものでした。天保14(1843)年の大火により消失し、礎石のみ残っていました。172年頃に再建されました。



河童堂【かむかやう】
河童道心と石湯丸の巻話が伝わるお堂。この巻話は、鹿や浄瑠璃の演目として広く知られています。

金剛三昧院【こんごうさんまいいん】
尼羯羅 北条政子か、夫・源頼朝と息子・実朝の巻話を奉りために建立。国家の多宝塔をはじめ、5月初旬から境内いっぱい咲くシャクナゲの花も有名。



御供養・御祈祷のお勧め

御先祖様や父母様、ご主人様、奥様、お子様等、先亡諸精霊のご冥福を祈ることを心がけつつも日常の忙しさに忘れ勝ちになるのが人の常であります。弘法大師様ご入定の高野山にご参詣を機会にご縁のある亡き人達の御供養をなさいますことをお勧めいたします。

尚、戒名のわからない方は、生前のお名前（俗名）で結構です。また、仏様の多くある方は〇〇家先祖代々として、お申し込み下さい。又、真言密教の秘法である護摩祈祷による、家内安全・交通安全・商売繁昌病氣平癒・身体健全等ご祈祷もご希望の方はお申し込み下さい。

高野山の御供養

一、茶 牌（今回のみ朝の勤行にて供養） 三千円

一、月 牌（法名・戒名の場合にご命日に、先祖代々は毎月一日に一年間供養） 五千円

一、日 牌（毎日一年間供養） 一万円以上

一、千体地藏供養 十万円

（ご先祖様等の供養・ご祈願・報恩謝徳、等々の為に地藏菩薩一体を本堂内におまつり致します。）

一、一般納骨供養 五万円

（当院にて遺骨を安置し一年間供養の後、遺骨は奥之院納骨堂へお納めします。但し、遺骨はお戻し出来ません。）

一、永代供養（詳しくは、寺務所までお問い合わせ下さい。）

高野山の御祈祷

家内安全・交通安全・商売繁昌・病氣平癒
身体健全・諸願成就・開運厄除・学業成就

一、小 札 三千円

一、中 札 五千円

一、大 札 一万円以上

※御供養並びにご祈祷を申し込まれる方は、裏面にご記入の上寺務所までお申し出下さい。

和歌山県高野山

地藏院